

## 【知事定例記者会見】 7月8日

- SAGA サンライズパークの整備が日々進んでいます

### SAGA アリーナの外壁・屋根工事も着々と

SAGA スタジアムがリニューアルオープンした。アリーナには屋根がつき、今後、内装工事に入る。このような大規模工事の過程は、めったに見られない。

### 県内小学生向けに工事現場見学会を実施しています！

9月までに、県内のすべての市町から約90校、5,000名の小学生が見学する。

コースは、SAGA プラザーSAGA アリーナーSAGA アクアーSAGA スタジアム。

- ・ SAGA プラザでは、古賀稔彦さんのメッセージ紹介を觀賞
- ・ SAGA アリーナで工事現場を間近に見学
- ・ SAGA アクアでは、太陽熱、雨水熱、井戸の地下水、地中熱の再生可能エネルギーを利用するエネルギー棟の見学
- ・ SAGA スタジアムで、アリーナをバックに記念撮影

参加した子供たちから、様々な感動の声が聞け、ものづくりのすばらしさに接してもらえたと感じている。

### 親子現場見学会、高校生現場見学会も実施中

小学4～6年生と保護者が工事体験できる見学会を開催。また、県内の建築・土木系高校の生徒860人も見学。即戦力になる高校生に、ものづくりのすばらしさを知ってほしい。

### そして、いよいよ、SAGA アリーナと佐賀市文化会館をつなぐ

SAGA アリーナと佐賀市文化会館をつなぐ国道横断デッキ「THE VICTORY WALK 栄光橋（仮称）」が、一夜にして出現する。9月4日（日）午前1時から設置の様子をライブ配信する。詳細は、県のホームページで知らせる。

### 6/25（土）沖縄アリーナを現地で見てきました

現在、最新のアリーナで、バスケットボールBリーグの推奨アリーナ。コンサートや展示会が開催され、Bリーグ琉球ゴールデンキングスの本拠地。様々な設備があり、いろいろな楽しみ方ができる施設になっている。沖縄アリーナとも連携し、さらにパワーアップした SAGA アリーナに期待してほしい。

#### 8月上旬から SAGA サンライズパークのロゴが点灯します

写真は、南側から見たところ。ライトワークを使って、夕やみに映える美しい場所にしたい。付近には、座れる場所の工事も始まり、新ランドマークのシンボルになるのではないかな。

2023年春のグランドオープンに向け、最終章へ入る。ご期待を。

#### ● 高校生の県内就職をさらに進めていきます

##### 佐賀県の有効求人倍率の推移

1963年の県内有効求人倍率は0.23倍。8割の人が県外に就職先を求め、佐賀を後にした。最近では6年連続1倍を超え、2022年5月に佐賀県最高の1.38倍となり、県内で就職するところはたくさんあるようになった。「県内に仕事や職場がない」という声を聞かすが、それは過去のことで、すばらしい企業がたくさんある。

##### 高校生の県内就職の状況

佐賀県の15歳未満人口は、沖縄県、滋賀県に次いで3番目に多い。高校生の就職率が全国2位と高いにも関わらず、県内就職率は65.8%、全国で5番目に低い。愛知県や富山県、北海道、石川県のように県内就職への道ができていない。県内に活躍する場所があることを知ってほしい。

##### 佐賀県では「プロジェクト65+」に取り組んでいます

2年前から「プロジェクト60」に取り組み、県内就職率を60%台にすることを目標にしてきた。初年度に達成し、次年度は65%台に上げるため「プロジェクト65」を開始。2020年に65.8%まで達したので、現在は「プロジェクト65+」に。企業と学校の

つながりを深め、職業人材育成の充実を図り、企業側も発信に力を入れている。

#### さらなる県内就職率アップのために

若手産業人材実践的教育プログラムは、第一線で活躍する職業人による実践的な教育を行い、県内企業への就職につながる環境を作る新規事業。

さらに拡充事業として、先生や支援員による県内企業訪問交流会を開き、県内企業の魅力を知ってもらう。

例えば、製造業の戸上電機製作所、中山鉄工所、東亜工機、森鉄工は、独自の高い技術を持ち、世界を相手に活躍している。

#### さらに多くの魅力的な企業が進出

知事に就任して以来、177 件の企業が県内に進出。大規模な企業誘致もあり、5,758 人が地元から雇用された。

最近では、SUMCO が伊万里市に新工場を建設中。アイリスオーヤマは、工場を増設予定。アサヒビールが、2026 年から鳥栖市で操業開始。久光製薬は、2023 年春からバレーチームの練習拠点を移転、研究拠点をつくば市から鳥栖市へ集約する。

#### “ものスゴフェスタ 8” を開催します！

「ものスゴフェスタ」を 3 年ぶりに SAGA プラザで開催する。今回は 8 回目。日程は、8 月 20（土）～21（日）。県内企業の技術のすばらしさを体験できる。夏休みの宿題にも好評を得ている。感染症対策をして参加を。

#### ● さが園芸 888 運動に取り組んでいます

##### さが園芸 888 運動とは

果物、野菜などの収益性が高いもので生産額 888 億円を目指し、「稼げる農業」で新しい担い手を増やす。所得アップと生産拡大に様々な取り組みをしている。

#### 新品種の開発！

・「いちごさん」は、単価が過去最高。栽培面積は90%まで拡大。収量は「さがほのか」の1.3倍。所得を上げるために効果的な作物。

・「にじゅうまる」は、今年2年目。単価は「不知火」の約2倍。栽培面積は1.3倍、出荷量2.7倍で拡大中。市場を広げていきたい。

### 新規就農者の育成！

トレーニングファームは、果物、野菜の栽培技術を習得し、未経験者が就農できるよう支援する練習場。きゅうり、トマト、ほうれんそう、いちごに続き、新年度は5か所目として、背振でのピーマン栽培を計画中。

### JAさがみどり地区の施設きゅうりが急上昇！

武雄のキュウリづくりの名人、山口仁司さんのノウハウをデータ化。それを参照し、統合環境制御技術により、ハウス内を最適な環境に整備し、県平均の1.5～2倍の収量に成功した。このデータを活用することで、農業初心者、県外からの移住者でも、「稼げる農業」に取り組むことができる。みどり地区だけではなく、県全体でキュウリの収穫・販売が好調。

### JA・生産者・県・市町がタッグを組んで取組中！

・水田でのみかんの根域制限栽培

シートで土を囲い、降雨を遮断して栽培環境を作る。ビニールを張り、田んぼだった平地を利用してみかんを栽培する。糖度が増し、育成・収穫が簡単に。

・大規模園芸団地の整備

トレーニングファームの修了者がすぐ農業を始められるよう、県内各地に大規模園芸団地を整備中。

・品目ごとの産地発展プロジェクトを開設

タマネギのベト病回避のため、ドローンで薬剤を散布する防除技術を開発。イチゴは、パッケージセンターを整備。

### 中山間地で県内最大規模のみかん園地を整備！

中山間地は土地所有者がばらばらで、しかも耕作放棄地が発生し、園地が細分化され、農地として不十分な地域がある。耕作放棄地の所有者から土地を購入、あるいは借りて整備し、担い手も31人から13人に集約し、みかんの根域制限栽培ができるようになった。

鹿島市の音成・嘉瀬の浦地区では、12.9ヘクタールのうち6ヘクタールでみかんの根域制限栽培を導入。農地を大型化することで、農業生産額を上げる方向に舵を切っている。

### さが園芸888運動推進大会を開催します

7月21日に888運動の推進大会を開催。併せて、日本弁理士会の会長の杉村さんに参加いただき、知的財産を守る運動も行なう。佐賀県で生み出した「いちごさん」「にじゅうまる」「サガンズギ」が、簡単にほかの地域で栽培されると、今までの苦勞が報われない。

県庁の中に「劇団1・2・3（いち・にい・さん）」を創設し、知的財産についての寸劇を披露する。オール佐賀で「稼げる農業」の実現に取り組んでいく。

#### ● 関係するアート展 vol. 2 開催！

昨年末の「関係するアート展」が好評、感激の声も多数寄せられた。第2弾では、作家のこだわりの作品を展示する。期間は7月26日～8月28日、観覧料は無料。

障害のある方の作品は、素直で純粋なため、いろんなことを考えさせられる。障害のある方もない方も、「関係するアート展」にお越しいただきたい。

#### ● 佐賀県が2試合連続でマッチデーを開催！

現在、サガン鳥栖は、ホームゲーム残り8試合で8位。しかし、降格帯チームとの勝点差は10点以内と油断ならないため、ここで気合を入れてみんなで応援したい。2試合とも来場者用にクラブバナーを2万本用意。

- ・ 8月7日「佐賀さいこう！Day」

SAGA BAR（サガバー）を出店。ミニフラッグを2万本用意。

- ・ 8月14日「さがウェディングストーリースペシャルマッチ」

男女参画・こども局が、駅前不動産スタジアムで結婚式を企画。開場前の4時半に、非公開で結婚式を1組行なう。その後、ご夫婦には様々な企画に参加してもらい、みんなで幸せを分かち合うという内容。

2万人の観客で、サガン鳥栖を後押ししていきたい。

### ● (問題提起1) Jリーグ 伝統蓄積ランキング (JTR)

私自身が考えていた2つの問題提起をする。

先日、Jリーグの野々村チェアマンと対談した。その際、各チームの伝統や歴史を含めたランキングシステムを作ってはどうかと提案した。名前は、「Jリーグ伝統蓄積ランキング (JTR: ジャパン・トラディショナル・ランキング)」。1993年から2021年までの各カテゴリーの順位を点数化した。点数は、J1が順位×100倍、20チームのリーグ戦で優勝すれば2,000点、最下位は100点。J2は10倍、J3は1倍で点数化する。

それを19年分計算すると、サガン鳥栖は18位。野々村チェアマンは、1位の鹿島アントラーズと2位の横浜F・マリノスを当てたので驚いた。チェアマンからは、100倍、10倍、1倍というシステムのセンスがいいと言われた。楽しみ方の1つになれば。

### ● (問題提起2) 都道府県の食料自給率で衆・小選挙区の定数分配をしたら

最近、安全保障の問題が取り上げられている。中でも食の安全保障が非常に大きい。食料自給率や経済、エネルギーの安全保障問題。いかに自前で供給できるかどうか。国際的に大きな変動がある中で、食料自給率が食糧安全保障という意味で大事だ。

日本の国会議員は、憲法によって人口で定数配分している。どれだけ食料を作り出しているかというカロリーベースで定数配分するとどうなるのかが、2つ目の問題提起。

食料自給率を都道府県別に計算した。佐賀県は、食料自給率95%で西日本トップ。大阪府や東京都は、人口分の1%も自給できない。

現在の衆議院小選挙区の定数289を、カロリーベースでの配分を試算した。東京都は30から1、大阪府は19から1、佐賀県は2から5へ。増えるのは、北海道や秋田県、新潟県などの食料を産み出している地域。

自給率が1%の地域に、国の行く末を決める機能が集中している。国会議員が、今さら定数を地方に戻すとは考えられないので、定数分配の根拠になっている憲法改正の必

要性を全国知事会でも発言している。この試算だけで分配するのは無意味だが、考えるきっかけにするため問題提起をした。